

家畜衛生情報誌

第109号

対

馬



ちさと
仔馬誕生（千里の子：巖原町）にて撮影

令和2年夏号

長崎県対馬振興局農林水産部家畜衛生課

（ 対馬家畜保健衛生所 ）

〒817-0322 長崎県対馬市美津島町雞知乙110-4

☎ : 0920-54-2179 FAX : 0920-54-3149

e-mail : s14220@pref.nagasaki.lg.jp



家畜伝染病予防法及び飼養衛生管理基準が改正されました

国内での豚熱（CSF）発生及び海外でのアフリカ豚熱（ASF）の発生状況を受け、令和2年7月1日に「家畜伝染病予防法の一部を改正する法律」が施行されました。今回の改正では水際防疫に関する強化に加え、新たに家畜の所有者の責務が規定されており、家畜伝染病予防及びまん延防止対策に、より厳格な対応が求められています。主な改正内容は下記のとおりです。

家畜伝染病予防法の主な改正概要

○家畜の所有者等の責務の明確化

○飼養衛生管理基準の遵守に係る是正措置等の拡充

- ・衛生管理区域に入る者にのみ又は汚染された畜舎・倉庫等から出る者のみに課せられている消毒義務を当該施設どちらも出入りする者に課すよう措置
- ・家畜の所有者は、衛生管理区域ごとに、飼養衛生管理に係る責任者を選任する制度を創設
- ・飼養衛生管理に関する罰則を強化（命令拒否の場合、罰金30万円→100万円）

○野生動物における悪性伝染性疾患のまん延防止措置の強化

- ・野生動物で悪性伝染性疾患の感染が発見された場合にも、発見された場所などの消毒や当該場所とその他の場所との通行制限、周辺農場等に対する家畜の移動制限、飼料業者・運送業者等の倉庫・車両の消毒など病原体拡散防止措置が実施できるよう措置

○予防的殺処分の対象疾病の拡大

- ・予防的殺処分の対象疾病にASFを追加
- ・野生動物で口蹄疫又はASFの感染が発見された場合にも予防的殺処分が実施できるよう措置

○水際防疫のための家畜防疫官の権限と罰則の強化

- ・出入国者の携帯品の畜産物（肉・肉製品）の有無を、家畜防疫官が質問・検査できるようになり、違法畜産物の廃棄が可能となるよう権限強化
- ・輸出入検疫に関する罰則の強化（輸出入検査を受けない場合、罰金100万円⇒300万円（個人）、5,000万円（法人））

飼養衛生管理基準の主な改正概要

- 飼養衛生管理マニュアルの作成と従業員及び関係者への周知徹底
- 衛生管理区域内での愛玩動物の飼育禁止
- 野生動物侵入防護柵、防鳥ネットの設置



家畜保健衛生事業推進会議開催

令和2年7月17日、当所会議室で家畜保健衛生事業推進会議を開催しました。今年度は新型コロナウイルス感染症対策として規模を縮小して行いました。令和2年度家畜防疫対策及び各種事業概要の他、平成31年度の事業実績、家畜診療及び牛繁殖成績、口蹄疫及び鳥インフルエンザ及び豚熱（CSF）発生状況の情報提供、飼養衛生管理基準の遵守について説明を行いました。



家畜伝染病防疫演習を実施しました

令和2年8月3日、対馬家畜市場で対馬地区家畜伝染病防疫演習を開催しました。新型コロナウイルス感染症対策として3密にならないよう参集範囲を縮小し、車両消毒演習を行いました。当日は炎天下の中での演習でしたので体調面を考慮し防護服の着用は行いませんでした。消毒にあたる演習者の皆さんは暑い中頑張って車両消毒作業をしていただきました。有事の際はよろしくお願いいたします。



熊本家畜市場成績

8月5日に開催された熊本家畜市場には、対馬から9頭の褐毛子牛が出荷されました。平均価格は前回比90%、前年同月比82%で取引されました。

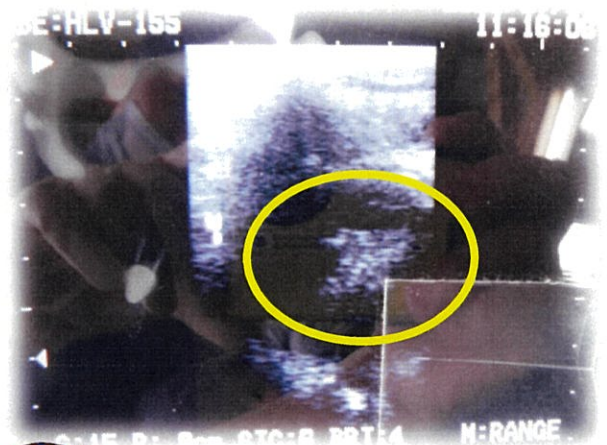
	取引頭数 (頭)	最高価格 (税込) (円)	平均価格 (税込) (円)	平均体重 (熊本市場) (kg)	kg単価 (円)	前回市比 (平均価格) (%)
雌	5	539,000	454,740	269	1,693	91
去勢	4	710,600	615,450	326	1,889	92
合計	9	710,600	526,167	294	1,790	90

対州馬の仔馬誕生！

7月初旬、対州馬の仔馬が誕生しました（表紙写真）。この仔馬は阿比留三郎さんが飼育している雌馬「千里」が生んだ仔馬です。4月に目保呂ダム馬事公園で生まれた仔馬と合わせて現在39頭の対州馬が対馬島内で飼育されています。8月に妊娠鑑定を行った結果、来年度はさらに2頭の対州馬が出産予定です。



仔馬（目保呂）



胎子（超音波画像）

新年度の挨拶



今年度も前年と同じ職員で業務を行うこととなります。昨年度以上現場重視で畜産振興、家畜伝染病予防に努めてまいりますのでよろしくお願い致します。

今年の梅雨は長く続き、高湿の状態となっています。牛は体温調節が非常に下手な生物ですので特に通気に心がけ、熱中症の予防に努めてください。

